



ICTを活用した高齢者のあんしん見守りサポートの 実証プロジェクトを開始します

堺市では、SENBOKU スマートシティコンソーシアム（※1）のヘルスケア WG の取組の一環として、大阪ガスセキュリティサービス株式会社（代表取締役社長：遠山 雅夫）、NTT PARAVITA 株式会社（代表取締役社長：中野 康司）、大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）、西日本電信電話株式会社 関西支店（関西支店長：小川 成子）の4社と連携して、本市が設置している緊急通報システムを利用する南区在住の高齢者世帯を対象に、ICTを活用した「あんしん見守りサポート」実証プロジェクトを開始します。

今後も市域におけるスマートシティの取組の一環として、民間企業との連携を通じた「福祉×ICT」による取組を推進し、高齢者の方が安心して暮らせる支援を継続的に進めます。

1 目的

超高齢社会が進行する中で、独居の高齢者や高齢者のみの世帯が特に南区では多くなっており、急な体調変化が起きた際など緊急時の対応に不安を感じている人が増えています。

本市では、ひとり暮らしの高齢者等に緊急事態が発生したときに備えて、ボタンを押すと簡単に消防局等に通報できる緊急通報システムを希望する高齢者宅に設置しています。今回の実証プロジェクトでは、高齢者が住み慣れた場所でいつまでも安心して過ごすことができる地域社会の実現をめざし、同システムに、生活リズムや睡眠のモニタリングができるICTを活用した2種類のセンサーを組み合わせ、一体的にサービスを提供することによる高齢者の見守りや健康管理等の効果を検証します。

2 対象者

緊急通報システムを利用している堺市南区在住の高齢者 20 名

3 スケジュール

（参加者募集期間）令和6年2月1日（木）～ 令和6年2月20日（火）

（実証期間）令和6年3月1日（金）～ 令和6年6月30日（日）

4 参加費

無料

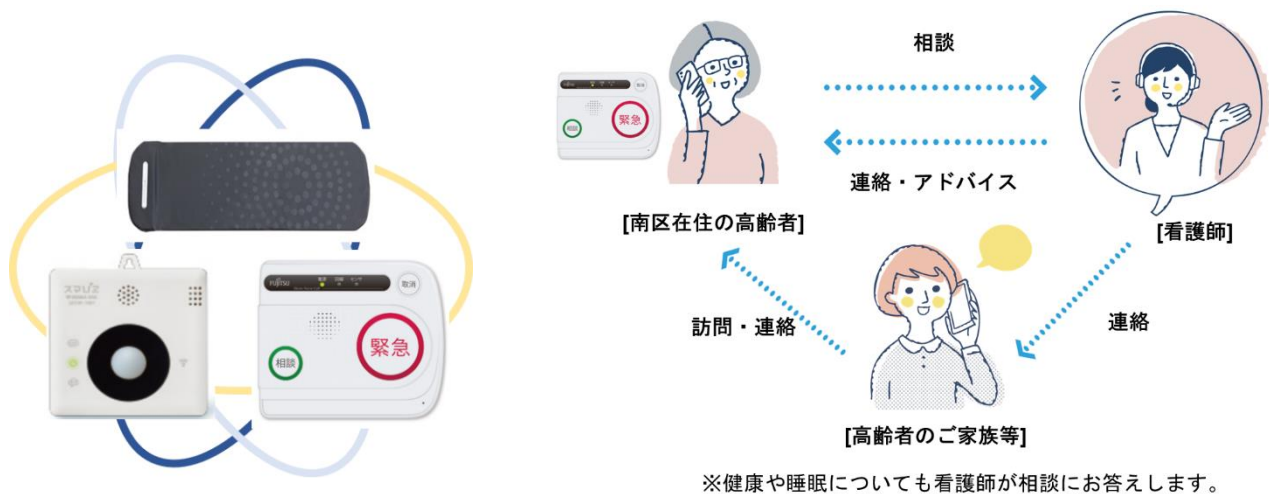
※機器類の使用に関する電気料金及び通信費は利用者の負担

5 概要

緊急通報システムを利用している南区在住の高齢者宅を対象に、大阪ガスの人感センサー機能を備えた IoT 対応ツナガル de 警報器「スマびこ」と、NTT PARAVITA のシート型睡眠センサー「Active Sleep Analyzer」を設置します。昼間の時間帯は高齢者の宅内移動の有無を人感センサーで探知し、夜間の時間帯（睡眠時）は、高齢者の就寝状態を睡眠センサーにより計測します。

高齢者本人に通常の生活を送っていただきながら、昼夜を問わず生活パターンや睡眠状態を見守り、24 時間体制で緊急時等に迅速な対応ができる体制の確保に加えて、睡眠改善アドバイス、病気の早期発見、健康管理等を行うサービス「あんしん見守りサポート」の実証を行います。

異常探知時の高齢者のご家族等への連絡、看護師による電話での健康相談等を一体的に提供し、高齢者が安心・安全に暮らせる仕組みの構築をめざします。



注：本取組は、本人や家族による健康状態のセルフチェックや見守りを目的としたものであり、個人の行動の監視や、医療的な行為を行うものではありません。

(※1) 令和 4 年 6 月 27 日に設立され、泉北ニュータウン地域のスマートシティ化を公民連携でめざすコンソーシアム。ヘルスケア・モビリティ・エネルギー・スマートタウン・データ連携の 5 つの WG で構成されており、令和 6 年 1 月現在の会員数は約 150 社。

問い合わせ先	(実証プロジェクトに関すること)
	担 当 課：市長公室 政策企画部 先進事業担当 電 話：072-228-7480 ファックス：072-222-9694
	(高齢者の見守り支援に関すること)
担 当 課：健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課 電 話：072-228-8347 ファックス：072-228-8918	
	(SENBOKU スマートシティコンソーシアムに関すること)
	担 当 課：泉北ニューデザイン推進室 スマートシティ担当 電 話：072-228-7530 ファックス：072-228-6824